

マタイ 26

人の本質を知り 遣わされた地を知って

マタイ福音書10章1～23節

十二使徒の派遣

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 十二使徒の派遣 10:1~14

II. 使徒たちへの警告 10:15~34

III. まとめと適用

人の本質を知り

遣わされた地を知って





0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教

→ 拒絶

→ 弟子訓練

→ 十字架へ

メシアによる
メシアの証明

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐



メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始



メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

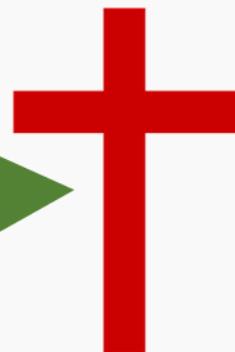
山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



マタイ福音書によるメシアの生涯 (時系列より内容重視)

	章	時代	おもな内容
出生	1~2	誕生	エレミヤの召命
大衆伝道 (公開)	3~4	宣教の開始	バプテスマ、悪魔の誘惑、ガリラヤへ
	5~9	宣教	山上の説教(5~7)、メシア的奇跡(8~9)
	10~12	衝突	12弟子の派遣(10) ベルゼブル論争
	13~20	弟子訓練	たとえ、信仰告白、山上の変容
	21~25	最後の論争	エルサレム神殿での最終論争
弟子訓練 (限定)	26~27	受難	最後の晩餐、裁判、十字架と葬り
	28	復活	復活、弟子たちへの最後の命令

イスラエルの指導者たちが拒んだもの

- ① メシアによる教え・律法の正しい解釈
- ② メシアによる神の奇跡
- ③ メシアによる弟子たちの派遣と宣言



I. 十二弟子の派遣

マタイ福音書10章1～14節

ガリラヤ湖畔

本編 使徒の召命 マタイ10:1

イエスは十二弟子*を呼んで、**汚れた霊ども**を制する**権威***をお授けになった。**霊ども**を追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒やすためであった。

*イスラエル十二部族が土台

十二弟子 →イスラエルの代表

***悪霊(墮天使)**を従わせる →**神の権威**

■メシアの時代、空前絶後の**悪霊**の攻撃が。

→この時代のイスラエルの民に、

病や患いをもたらす主な原因が、**悪霊**。



本編 十二使徒 マタイ10:2a

十二使徒*の名は次のとおりである。

*アポストロス…使者、使徒

「イエス・キリストの使徒(ユダ1:17)」

➔キリストに召され、遣わされた者

「ですから、天の召しにあずかっている
聖なる兄弟たち。私たちが告白する、
使徒であり大祭司であるイエスのこと
を考えなさい。ヘブ3:1」

➔究極の神の使徒は、メシア



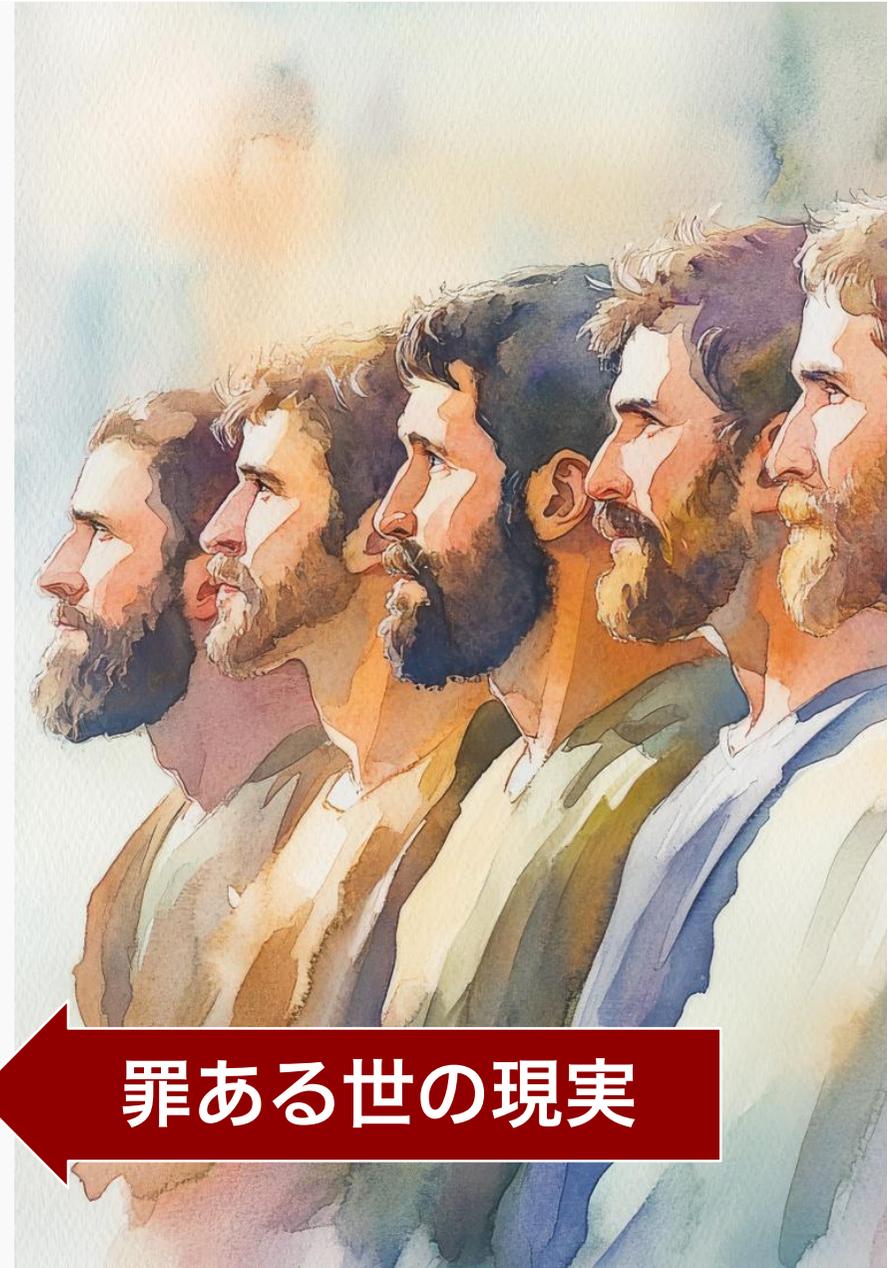
本編 十二使徒 マタイ10:2b~4

まず、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ*、ピリポとバルトロマイ、トマスと取税人マタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイ*、熱心党のシモンと、イエスを裏切ったイスカリオテのユダ*である。

*あだ名はボアネルゲ(雷の子)マコ3:17

*トマス(マコ3:18、ルカ6:15)

*最初からいたのが、裏切り者のユダ



罪ある世の現実

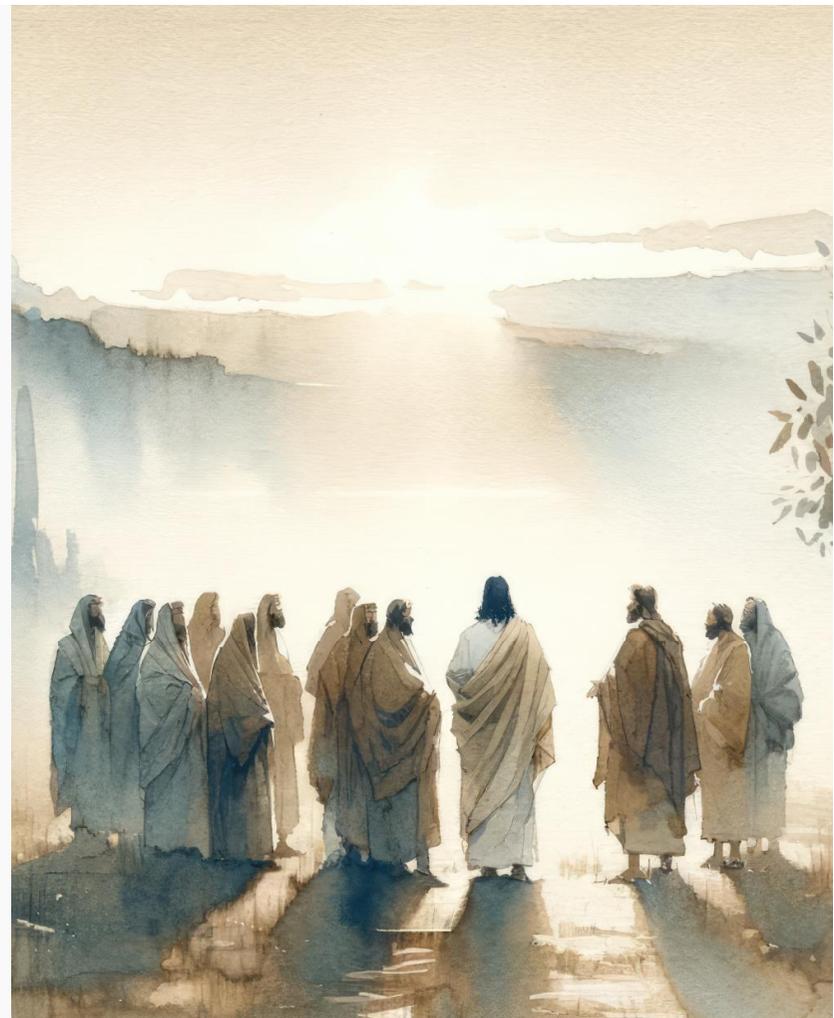
本編 使徒への命令 マタイ10:5~7

イエスはこの十二人を遣わす際、彼らにこう命じられた。「異邦人の道に行ってははいけません。また、サマリア人の町に入ってははいけません。

むしろ、イスラエルの家の失われた羊たちのところに*行きなさい。行って、『**天の御国が近づいた***』と宣べ伝えなさい。

*使徒は、第一にイスラエルに派遣。

*メシアを王として受け入れれば、
神の王国が地上に実現される。



第一に告げるべきは、
メシアの到来

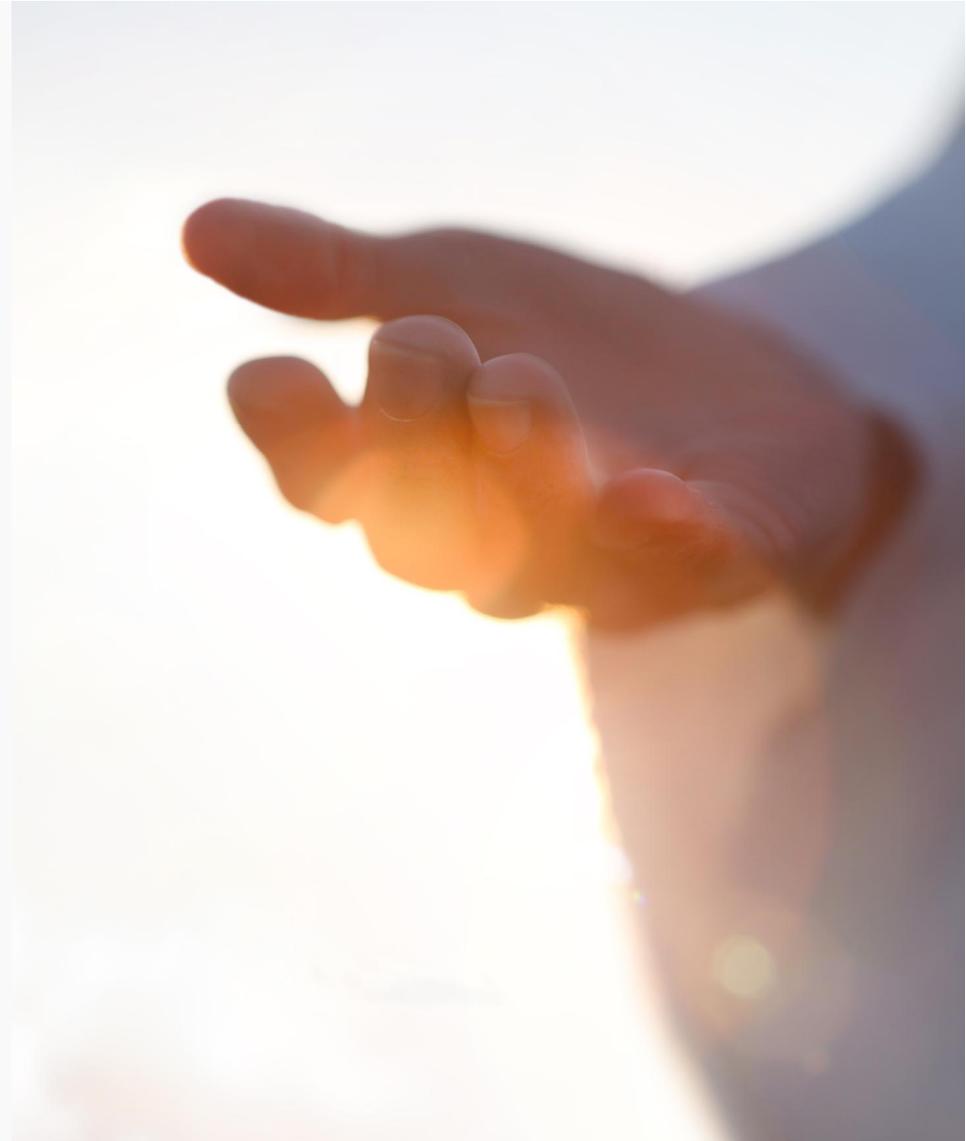
本編 メシアからの権威 マタ10:8

病人を癒やし、死人を生き返らせ、
ツアラアトに冒された者をきよめ、悪
霊どもを追い出しなさい*。あなたがた
はただで受けた*のですから、ただで与
えなさい。

*メシアの奇跡を、メシアの権威を
受けた使徒たちも実行

*悪霊を追い出す神の権威を受けた

メシアの奇跡が、メシア到来を告げる使徒たちの宣言を保証!!



本編 メシアの守り マタ10:9~10

胴巻に金貨も銀貨も銅貨も*入れて行ってはいけません。

袋も二枚目の下着も履き物も*杖も*持たずに、旅に出なさい。働く者が食べ物を得るのは当然*だからです。

*出エジプトの際には様々な宝が。

*荒野の40年では、着物も履き物もすり切れなかった(申29:5)

*モーセは神の杖を与えられたが…。

*律法は祭司の報酬を命令(民18:31)。



律法の祝福の約束に
忠実に基づく派遣

本編 町や村で マタイ10:11~12

どの町や村に入っても、そこでだれがふさわしい人かをよく調べ、そこを立ち去るまで、その人のところにとどまりなさい。

その家に入るときには、**平安***を祈るあいさつをしなさい。

***主の権威によって託された平安**

■ 宣教の原則は、まず信頼できる人と拠点を見つけること。



本編 平安をもって マタイ10:13

その家がそれにふさわしければ、あなたがたの祈る平安がその家に来るようにし、ふさわしくなければ、その平安があなたがたのところに返って来るようにしなさい。

■ この平安も、悪霊追い出しと同じく、使徒に委ねられた、メシアの権威に基づくもの。

➡ 安易な適用は厳禁



平安の子

■ 72人の弟子の派遣 ルカ福音書10:5～6

どの家に入っても、まず、

『この家に平安があるように』と言いなさい。

そこに**平安の子**がいたら、あなたがたの平安は、その人の上にとどまります。

いなければ、その平安は あなたがたに返って来ます。』

本編 足のちり マタイ10:14

だれかがあなたがたを受け入れず、あなたがたのことばに耳を傾けないなら、その家や町を出て行くときに足のちりを払い落とすなさい*。

*祝福と呪いの律法の主として、
メシアが命じた不信仰者への呪い

➡この権威も使徒に託された

※衣の裾を振ったネヘミヤ(ネヘ5:13)
「その人の家から、また、その人の勤労の実から振り落としてください」





II. 使徒たちへの警告

マタイ福音書10章15～23節

ガリラヤ湖畔

本編 さばきの日 マタイ10:15

まことに、あなたがたに言います。さばきの日*には、ソドムとゴモラ*の地のほうが、その町よりもさばきに耐えやすいのです。

*主の日。大艱難。世の終わりの裁き

*繁栄した町だったが、主への罪が極まった末に、火と硫黄で滅ぼされた。

■終末の裁きの対象は、イスラエル。

2/3以上が滅ぶ。



本編 蛇、鳩のように マタイ10:16

いいですか。わたしは狼*の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く*、鳩のように素直*でありなさい。

*イスラエルの偽教師、偽善者たち

*アダムを騙した蛇(サタン)は、人間の特性を良く知っていた。

*大洪水後に、忠実に命令に従い、乾いた陸地の証拠を持ち帰った。



人の現実を見据えつつ
主に忠実に従おう

本編 試練の告知 マタイ10:17~18

人々には用心しなさい*。彼らはあなたがたを地方法院に引き渡し、会堂でむち打ちます。

また、あなたがたは、わたしのために総督たちや王たちの前に連れて行かれ、彼らと異邦人に証しをする*ことになります。

*蛇のように賢く(17節)

*ペンテコステ以降、使徒たちが体験



本編 主の保証 マタイ10:19~20

人々があなたがたを引き渡したとき、何をどう話そうかと心配しなくてもよいのです。話すことは、そのとき与えられるからです。

話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって話される、あなたがたの父の御霊です。

- 苦難の中でも、使徒は使命を全う。聖霊が、使徒を通して弁明される。



本編 終末預言 マタイ10:21

兄弟は兄弟を、父は子を死に渡し、子どもたちは両親に逆らって立ち、死に至らせます。

■ 主の日の裁き ミカ書7:6～7

「子は父を侮り、娘はその母に、嫁はその姑に逆らい、それぞれ自分の家の者を敵とする。

しかし、私は【主】を仰ぎ見、私の救いの神を待ち望む。私の神は私の言うことを聞いてくださる。」



本編 終末預言 マタイ10:22

また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。

■ 世の終わりの裁き マタイ24:9

「そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。」



本編 終末預言 マタイ10:23

一つの町で人々があなたがたを迫害する
なら、別の町へ逃げなさい*。まことに、
あなたがたに言います。人の子が来るとき
まで*に、あなたがたがイスラエルの町々
を巡り終えることは、決してありません。

*教会時代の福音宣教の原則

迫害 → 離散 → 宣教の拡大

*宣教を完結されるのは再臨のメシア



メシア再臨の瞬間まで、イスラエルと世界で、福音宣教は続く



Ⅲ. まとめと適用

人の本質を知り、遣わされた地を知って

ガリラヤ湖畔

私たち人間の目から見た 預言者たちの預言と メシアによる預言



メシアの視点に近づこう!!



メシアによる派遣の三層構造

時代	派遣される者	宣言する福音の内容
①律法時代の派遣 (公生涯)	<ul style="list-style-type: none">・ 十二使徒・ 72人の弟子 (ルカ10章)	<ul style="list-style-type: none">・ 初臨のメシアの到来 「神の国は近づいた」
②教会時代の派遣	<ul style="list-style-type: none">・ 使徒・ 弟子たち (福音を信じた ユダヤ人と異邦人)	<ul style="list-style-type: none">・ メシアによる 十字架の贖いと復活・ 主の日の来る前に 福音を信じること
③大艱難時代の派遣	<ul style="list-style-type: none">・ 14万4千人のユダヤ人・ 福音を信じた ユダヤ人と異邦人	<ul style="list-style-type: none">・ 御国の福音 十字架の贖いと復活 再臨の栄光のメシア

教会時代の使徒にも継続された、メシアの派遣命令

■ **継続されていない命令** → 何も持たずに(初回の派遣限定)

■ **使徒たちに継続された命令** …「使徒の働き」との共通点

- ① 奇跡と悪霊追い出し → 使徒の証言を保証
- ② 町や村での拠点作り 拒絶された場合の作法
- ③ 蛇のように賢く、鳩のように素直に
- ④ 迫害下の裁きの場での弁明は、聖霊の助けに委ねる
- ⑤ 忍耐すること
- ⑥ 迫害されたら別の町へ

教会時代の信者に適用されるべきこと

■ 継続されていない命令

➔ 奇跡と悪霊追い出し

使徒の証言を保証。役目を終えた。

■ 教会時代の信者に適用されるべき命令

…教会の足跡から

- ① 地域での拠点作り
- ② 蛇のように賢く、鳩のように素直に
- ③ 迫害下の裁きの場での弁明は、聖霊の助けに委ねる
- ④ 忍耐すること
- ⑤ 迫害されたら別の地域へ

★ 人間の本質を知り、遣わされた地域を知って ★

■ 「蛇のように賢く」、罪ある人間の現実を見据えよう。

「鳩のように素直に」、**主の命令**を信頼して使命に遣わされよう。

■ その地域に根ざしてこそその地域教会だと心得よう。

地域宣教のとっかかりとなる「平安の子」を主が置かれている。

■ 迫害が起きる時、御霊が裁きの場で弁明の言葉を与えられ、

主が逃れの道を用意される。主の派遣は誰も止められない!!

派遣されるただ中で、主の御業を見、誉め讃えていこう!!

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし いま とき でし はけん
私たちは、今この時から、キリストの弟子として派遣されます。

ひと げんじつ みすえ しゅ みことば しんらい
人の現実を見据えつつ、主の御言葉に信頼して従います。

ち お へいあん こ であ
あなたがこの地に置かれた平安の子と出会わせてください。

ふくいん しん すく ひとびと ち お
福音を信じて救われる人々を、どうかこの地に起こしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」